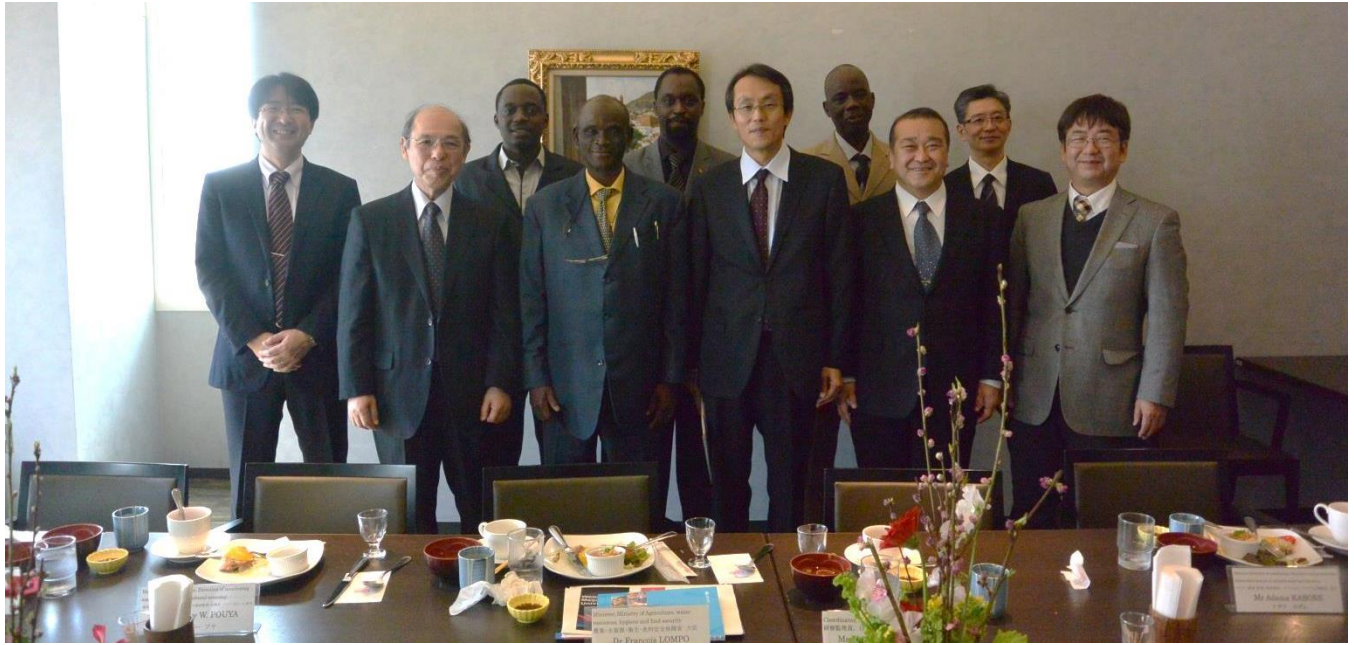
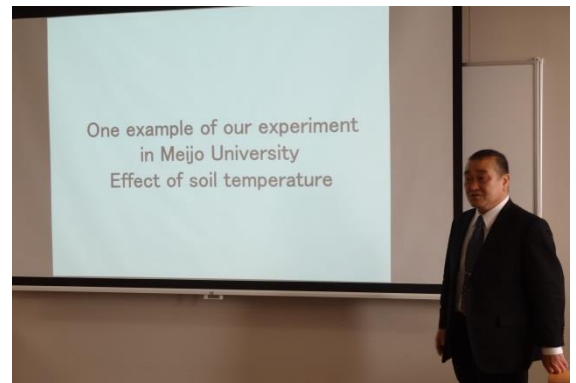


## ブルキナファソ国農業大臣が名城大学を訪問



3月4日(水)に西アフリカにあるブルキナファソ国の農業大臣が名城大学を訪問しました。ブルキナファソ国では、農民が85%を占めています。現在この国は発展と成長に躍起になっています。そこで選ばれてきた作戦は、この国の輸出作物の第2位であるゴマの生産を増やして、外貨を稼いで、農民をひいては国を豊かにしようというものです。この協力を日本国政府が引き受け、国際協力機構(JICA)は農民、集荷業者、輸出業者のバリューチェーン全体を強化しようというプロジェクトを発足させました。



農学部生物資源学科の道山教授はこのプロジェクトの栽培関係の技術参与として、名城大学での研究を基にしてゴマの栽培指導にあたっています。このプロジェクトに対する大きな期待から、道山教授のゴマ栽培強化の話を知ったために今回の大臣の名城大学訪問ということになりました。話の後に福島副学長、船隈学術研究支援センター長、森上生物資源学科長、加藤応用生物化学科長、生物資源学科平野准教授と道山教授が出席して、農業大臣一行の歓迎の昼食会を開催し、その後中根学長を表敬訪問しました。

